

広報



PUBLIC
RELATIONS

うんぜん

Good!

雲仙市の春を堪能する (2~3)

住民健診の申込みについて (14~18)

移動市長室 (20~22)

市からのおしらせ満載

インフォメーション (8~11)

3 月号

No.17

平成19年3月1日発行

神代小学校1年1組での
招待給食会にて
(関連27ページ)

毎年恒例の春のイベント「小浜温泉湯祭り」が今年も行われます。盛りだくさんの内容となっていますので、みなさんおそろいでぜひお出かけください。



- ◆プログラム◆(時間は変更になる場合があります)
- 午前10時 入徳師顕彰(伝明寺)
 - 午前10時30分 温泉感謝祭(小浜神社)
 - 午前11時30分 道行き(北本町湯遊通商店街ほか)
 - 午後2時 みこしレース
 - 午後2時30分 ステージイベント(小浜マリンパーク)
 - 雲仙湯けむり大使発表
 - その他出し物

☎小浜温泉観光協会 ☎0957-74-2672

小浜温泉湯まつり

4月1日(日)

温泉の恵みに感謝。御神湯が練り歩く



雲仙市の

待ち遠しかった春がもうすぐそこまで。春の雲仙市には魅力がいっぱい。

春の

を堪能する



第20回全九州花火師競技大会

- ◆場所 小浜港
- ◆時間 午後8時~(予定)

☎小浜温泉観光協会 ☎0957-74-2672

全九州花火師競技大会

4月1日(日)

春の夜空を焦がす、大輪の花火の競演



- ◆ボンボリ点灯
- 3月24日~4月8日(予定)

☎千々石総合支所 ☎0957-37-2001

橘公園(千々石町)

千本の桜が春の訪れを告げる

雲仙湯けむり大使募集

小浜温泉湯祭り振興会では、平成19年度の雲仙湯けむり大使を次のとおり募集します。

■応募資格

雲仙市内に居住している人、または勤務している人。性別・年齢・自薦、他薦は問いません。

■応募方法

氏名、生年月日、住所、職業、最終学歴、身長、体重、趣味、特技を明記のうえ、写真（上半身、全身各1枚）を添付し、提出してください。（他薦の場合は、推薦者の氏名、住所、電話番号、職業を付記してください）

■応募締切

3月16日（金）必着

■賞品

賞状、賞金、トロフィー、副賞

■応募・問い合わせ

小浜温泉湯祭り振興会

☎0957-74-2672

小浜温泉湯まつり みこしレース 出場チーム大募集!!

毎年恒例となった、小浜青年交友会が主催する「みこしレース」を今年も開催します。今年は、競技内容を大幅にリニューアルして、少人数でも参加できるようになりました。

どなたでも参加できますので、ふるって出場してください。

☆出場資格

4人1チーム（性別不問）

☆当日受付

小浜マリパーク

午前8時30分～9時30分

☆競技開始

・予選…午前10時

・決勝トーナメント…午後2時

☆賞金

優 勝…5万円

準優勝…3万円

第3位…1万円

※その他特別賞があります

☆参加申込締切

3月26日（月）

■申し込み・問い合わせ

小浜青年交友会事務局

（小浜温泉観光協会内）

☎0957-74-2672



◆桜まつり
4月3日（予定）



淡島神社（国見町）

満開の桜の下、三つの鳥居をくぐると

観櫻火宴（かんおうかえん）

たいまつを持った武者行列は圧巻！

3月31日（土）



◆プログラム◆

午後7時30分 たいまつ武者行列 出陣（城山グラウンド）

※武者行列の順路が昨年と違いますのでご注意ください

午後7時45分 元服式（橋神社）

午後8時 プレイベント（千々石中グラウンド）

午後8時30分 合戦釜蓋城物語（千々石中グラウンド）

☎千々石総合支所 ☎0957-37-2001



☎小浜総合支所
☎0957-74-2111

とけん山公園（小浜町）

桜と海と夕陽のコントラスト

嘱託職員募集

募集職種	嘱託職員(産休・育児休暇に伴う保健師)	募集人員	1人
雇用期間	平成19年4月1日～平成19年12月28日	勤務場所	市役所 健康づくり課
勤務時間	午前8時30分～午後5時15分	報酬	・月額 160,000円 ・通勤手当支給 ・勤務良好の場合は賞与あり
休日	土日、祝日		
応募資格	・保健師免許を有する人で65歳未満の人 ・通勤可能な人	社会保険等	健康保険・厚生年金・雇用保険
		申込期限	3月15日(木)まで
業務内容	・健康づくり業務に関すること ・公用車運転に関すること ・その他、指示された業務	問い合わせ	健康づくり課
申込方法	市役所人事課および健康づくり課、各総合支所管理課に備え付けの「嘱託職員申込書」に写真を貼り、必要事項を自筆で記入の上、取得している免許証の写しを添えて、人事課または健康づくり課、各総合支所市民生活課、福祉事務所福祉課に提出してください。		

募集職種	嘱託職員(栄養士)	募集人員	1人
雇用期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日	勤務場所	市役所 健康づくり課
勤務時間	午前8時30分～午後5時15分	報酬	・月額 137,000円 ・通勤手当支給 ・勤務良好の場合は賞与あり
休日	土日、祝日、年末年始		
応募資格	・栄養士免許を有する人で65歳未満の人 ・通勤可能な人	社会保険等	健康保険・厚生年金・雇用保険
		申込期限	3月15日(木)まで
業務内容	・健康づくり業務に関すること ・公用車運転に関すること ・栄養指導に関すること	問い合わせ	健康づくり課
申込方法	市役所人事課および健康づくり課、各総合支所管理課に備え付けの「嘱託職員申込書」に写真を貼り、必要事項を自筆で記入の上、取得している免許証の写しを添えて、人事課または健康づくり課、各総合支所市民生活課、福祉事務所福祉課に提出してください。		

募集職種	嘱託職員(登記事務職員)	募集人員	3人
雇用期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日	勤務場所	市役所 用地課(別館2階)
勤務時間	午前8時30分～午後5時15分	報酬	・月額 124,300円 ・通勤手当支給 ・勤務良好の場合は賞与あり
休日	土日、祝日、年末年始		
応募資格	・雲仙市に住所を有する、満18歳以上65歳未満の人 ・パソコン操作ができる人 ・登記事務経験者	社会保険等	健康保険・厚生年金・雇用保険
		申込期限	3月12日(月)まで
業務内容	分筆登記・所有権移転登記・地目変更登記等	問い合わせ	用地課
申込方法	市役所人事課および用地課、各総合支所管理課に備え付けの「嘱託職員申込書」に写真を貼り、必要事項を自筆で記入の上、人事課または用地課、各総合支所管理課に提出してください。		

臨時職員募集

募集職種	臨時職員（歯科衛生士）	募集人員	若干名
雇用期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日	勤務場所	各総合支所 市内保健センター
応募資格	歯科衛生士資格を有する人で65歳未満の人	賃金	・1回 4,600円 ・時給 920円
業務内容	ブラッシング指導、虫歯予防に関する指導 ・1歳6ヶ月児健診 ・3歳児健診 ・乳児相談 ・パパママ教室 ・2歳児歯科健診	申込期限	3月15日(木)まで
		問い合わせ	健康づくり課
申込方法	市役所人事課および健康づくり課、各総合支所管理課に備え付けの「臨時職員登録申込書」に写真を貼り、必要事項を自筆で記入の上、取得している免許証の写しを添えて、人事課または健康づくり課、各総合支所市民生活課、福祉事務所福祉課に提出してください。		

募集職種	臨時職員（保育士）	募集人員	若干名
雇用期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日	勤務場所	各総合支所 市内保健センター
応募資格	保育士の資格を有する人で65歳未満の人	賃金	時給 900円
業務内容	育児教室、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診 ・教室・健診中の子供のお遊び ・母子関係の相談指導	申込期限	3月15日(木)まで
		問い合わせ	健康づくり課
申込方法	市役所人事課および健康づくり課、各総合支所管理課に備え付けの「臨時職員登録申込書」に写真を貼り、必要事項を自筆で記入の上、取得している免許証の写しを添えて、人事課または健康づくり課、各総合支所市民生活課、福祉事務所福祉課に提出してください。		

募集職種	臨時職員（保健師）	募集人員	若干名
雇用期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日	勤務場所	各総合支所 市内保健センター
応募資格	保健師免許を有する人で65歳未満の人	賃金	時給 1,000円
業務内容	1歳6ヶ月児健診、3歳児健診 ・健診時の保健指導	申込期限	3月15日(木)まで
		問い合わせ	健康づくり課
申込方法	市役所人事課および健康づくり課、各総合支所管理課に備え付けの「臨時職員登録申込書」に写真を貼り、必要事項を自筆で記入の上、取得している免許証の写しを添えて、人事課または健康づくり課、各総合支所市民生活課、福祉事務所福祉課に提出してください。		

募集職種	臨時職員（看護師）	募集人員	若干名
雇用期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日	勤務場所	各総合支所 市内保健センター
応募資格	看護師免許を有する人で65歳未満の人	賃金	・1日 7,200円 ・時給 900円
業務内容	集団予防接種（ポリオ BCG） ・予防接種の準備・介助 1歳6ヶ月・3歳児健診 ・1歳6ヶ月児・3歳児健診の診察・介助等	申込期限	3月15日(木)まで
		問い合わせ	健康づくり課
申込方法	市役所人事課および健康づくり課、各総合支所管理課に備え付けの「臨時職員登録申込書」に写真を貼り、必要事項を自筆で記入の上、取得している免許証の写しを添えて、人事課または健康づくり課、各総合支所市民生活課、福祉事務所福祉課に提出してください。		

臨時職員募集

募集職種	臨時職員（栄養士）	募集人員	若干名
雇用期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日	勤務場所	各総合支所 市内保健センター
応募資格	栄養士免許を有する人で65歳未満の人	賃金	時給 950円
業務内容	健康教室 ・健康教室時の栄養指導	申込期限	3月15日(木)まで
	乳児相談 ・乳児相談時の離乳食指導 1歳6ヶ月・3歳児健診 ・1歳6ヶ月・3歳児健診時の栄養指導	問い合わせ	健康づくり課
申込方法	市役所人事課および健康づくり課、各総合支所管理課に備え付けの「臨時職員登録申込書」に写真を貼り、必要事項を自筆で記入の上、取得している免許証の写しを添えて、人事課または健康づくり課、各総合支所市民生活課、福祉事務所福祉課に提出してください。		

募集職種	臨時職員（助産師）	募集人員	若干名
雇用期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日	勤務場所	各総合支所 市内保健センター
応募資格	助産師免許を有する人で65歳未満の人	賃金	・妊婦訪問2,000円 ・産婦訪問1,750円 ・新生児訪問1,750円
業務内容	訪問指導 ・妊産婦・新生児の訪問指導	申込期限	3月15日(木)まで
	パパママ教室 ・パパママ教室時の保健指導	問い合わせ	健康づくり課
申込方法	市役所人事課および健康づくり課、各総合支所管理課に備え付けの「臨時職員登録申込書」に写真を貼り、必要事項を自筆で記入の上、取得している免許証の写しを添えて、人事課または健康づくり課、各総合支所市民生活課、福祉事務所福祉課に提出してください。		

募集職種	臨時職員（愛野保健福祉センター健康増進室）	募集人員	3人
雇用期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日	勤務場所	愛野保健福祉センター (愛野町)
応募資格	年齢18歳以上65歳未満の人	賃金	・時給650円 (1日あたり4,550円)
勤務時間	1日8時間程度（1月あたり約10日程度） 3人程度でのローテーション勤務	申込期限	3月15日(木)まで
業務内容	・健康増進室機械器具の利用者に対する指導	問い合わせ	健康づくり課
	・外来者及び電話対応 ・簡単な事務・日誌等の記帳 ・出勤、退館時の開閉戸締り ・館内外の簡単な清掃 ・その他指示された事項		
申込方法	市役所人事課および健康づくり課、各総合支所管理課に備え付けの「臨時職員登録申込書」に写真を貼り、必要事項を自筆で記入の上、人事課または健康づくり課、各総合支所市民生活課、福祉事務所福祉課に提出してください。		

募集職種	臨時職員（吾妻保健センター清掃）	募集人員	1人
雇用期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日	勤務場所	吾妻保健センター(吾妻町)
応募資格	年齢18歳以上65歳未満の人	賃金	1日 5,000円
勤務時間	毎週月曜日 午前9時～午後4時30分	申込期限	3月15日(木)まで
業務内容	保健センターの清掃	問い合わせ	健康づくり課
申込方法	市役所人事課および健康づくり課、各総合支所管理課に備え付けの「臨時職員登録申込書」に写真を貼り、必要事項を自筆で記入の上、人事課または健康づくり課、各総合支所市民生活課、福祉事務所福祉課に提出してください。		

心身に障害がある人は 軽自動車税の減免が受けられます

減免が受けられる人

次のいずれかに該当する軽自動車を所有する人

①申請者が取得（所有）し、自ら運転する軽自動車

②申請者が取得した軽自動車を、専ら申請者の通学・通院・生業のために、生計を同じくするもの、または常時介護するものが運転する軽自動車

③専ら身体障害者の利用に供するためのもので、車検証に「車いす移動車」「入浴車」などの記載がなされている特殊用途軽自動車

身体障害者に対する減免範囲
表-1のとおり

知的障害者に対する減免範囲

●療育手帳の所持者でA1・A2の人

●精神障害者保健福祉手帳の所持者で1級の人

※自動車税（県税）の減免を受けている人は、軽自動車税の減免は受けられません。また、前年度申請した人も、19年度の申請が必要です。

申請時に必要なもの

●心身に障害があることを証明する手帳

○身体障害者手帳○戦傷病者手帳○療育手帳○精神障害者保健福祉手帳

●運転免許証

●車検証（写し可）

●軽自動車納税通知書兼領収証書

表-1

障害の区分	程度	身体障害者手帳	戦傷病者手帳
		障害の級別	不具廃疾または傷病の程度
視覚障害		1級～3級、4級の1	特別項症～第4項症
聴覚障害		2級、3級	特別項症～第4項症
平衡機能障害		3級	特別項症～第4項症
音声機能障害		(3級/咽頭摘出のみ)	(特別項症～第2項症/咽頭摘出のみ)
上肢不自由		1級、2級	特別項症～第3項症
下肢不自由		1級～6級 (4級～6級)	特別項症～第6項症および第1款症～第3款症 (第5項症～第6項症および第1款症～第3款症)
体幹不自由		1級～3級、 5級(5級)	特別項症～第6項症および第1款症～第4款症 (第5項症～第6項症および第1款症～第4款症)
乳幼児期以前の非進行性脳病変による運動機能障害	上肢機能	1級、2級	-
	下肢機能	1級～6級 (4級～6級)	-
心臓機能障害		1級、3級	特別項症～第3項症
じん臓機能障害		1級、3級	特別項症～第3項症
呼吸機能障害		1級、3級	特別項症～第3項症
ぼうこうまたは直腸機能障害		1級、3級	特別項症～第3項症
小腸機能障害		1級、3級	特別項症～第3項症
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害		1級～3級	-

※上記中（ ）は、本人運転以外は適用されませんので、ご注意ください

受付期間

4月2日（月）～24日（火）
（土・日・祝日を除く）

●本人と同一生計であることを証明できる書類
○生計同一証明書○常時介護証明書○健康保険証 など

●印鑑
※家族運転の場合は左記の書類も必要です。
●通院証明書・通学証明書（該当者は必ず提出してください）

申請・問い合わせ

●税務課 市民国保税班
●各総合支所 管理課

平成19年度 入札制度説明会の 開催について

日時 3月28日（水）
午後2時～3時

場所 吾妻町ふるさと会館
1階 多目的ホール
(市役所横)

対象者

雲仙市建設工事にかかる
入札参加資格を有している人

問い合わせ

●管財課



教育委員会

児童生徒の就学援助

市では、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、就学援助を行っています。(準要保護児童生徒就学援助制度)

◎準要保護児童生徒就学援助制度とは

生活保護法の被保護世帯に準ずる程度に困窮している世帯に対して、市が援助する制度です。

援助の内容

準要保護世帯の小・中学生を対象に、次の援助をします。

- ①学用品費等
学用品費、通学用品費、通学費、校外活動費、修学旅行費、体育実技用具費(柔道・剣道)の援助
- ②医療費
結膜炎、中耳炎、う歯など学校で治療の指示を受けた疾病の治療に要する費用の援助
- ③学校給食費

手続きの方法

援助を受けるためには、毎年度申請し、認定を受けることが必要です。

就学援助申請書は、教育委員会学校教育課および各分室に用意してあります。
居住地区の担当民生・児童委員の意見書および収入がわかる書類を添付のうえ、申請してください。
※地区の民生・児童委員が分からないときは、教育委員会へお尋ねください。

提出先

- ・教育委員会 学校教育課
- ・市内各分室

提出期間
3月15日(木)～4月13日(金)
※期間内に提出した場合は4月当初から就学援助が受けられます。(以降も随時受付)

問い合わせ

●教育委員会 学校教育課 学事班



福祉課

高齢者及び障害者(児)福祉タクシー利用券の配布について

高齢者および障害者(児)福祉タクシー利用券を配布します。

対象者

- 平成19年4月1日現在、市に住所があり居住している人で次のいずれかに該当する人
- ①70歳以上の人
- ②身体障害者手帳1級～3級所持者
- ③療育手帳所持者
- ④精神障害者保健福祉手帳所持者

助成額

- 高齢者・障害者
タクシー利用券1枚につき料金の3割以内(500円を上限)
- 重度障害者
タクシー利用券1枚につき500円

※いずれも、交付枚数は最高60枚まで

申請方法

本人確認ができるもの(運転免許証、健康保険証、老人手帳、など)、印鑑、障害者手帳等を持参し、各総合支所市民生活課または福祉事務所福祉課に申請してください。

交付日

3月30日(金)から

お願い

毎年、交付初日は窓口が大変混雑します。
タクシー券の申請をされた人で、タクシー券を今すぐ必要としない人については、申請日時をずらすなどしていただくと幸いです。
スムーズな交付を行うためにもご協力よろしくお願します。

問い合わせ

●福祉事務所 福祉課





市民課

平成19年度 交通災害共済へ加入しましょう

加入できる人

・雲仙市に住民登録又は外国

◎**交通事故災害とは**
国内で自動車や汽車、電車、原動機付自転車、自転車(16インチ以上)、定期旅客船、旅客機等の接触、衝突、転覆等により事故にあわれた場合

自動車や電車などの交通機関が発達している今日、いつ「交通事故災害」にあうかわかりません。もしものときのために、家族そろって交通災害共済に加入しましょう。

人登録をしている人(市外に転出している人は加入できません)
・就学(学生)のため一時的に転出している人
共済掛金
加入者1人につき500円
※中途加入者(4月1日以降の加入者)についても同額
共済期間
平成19年4月1日から平成20年3月31日まで
※中途加入者(4月1日以降の加入者)は、市役所または各総合支所で受理した日時から平成20年3月31日まで

問い合わせ

- 市民課
- 各総合支所管理課

申込方法
所定の申込用紙で、各自治会で取りまとめるか、市役所市民課または各総合支所管理課へ直接申し込んでください。
災害共済の請求期限
事故発生日から2年以内
※請求書、その他の関係書類は市役所市民課および各総合支所管理課にあります。詳しくはお問い合わせください。



保険年金課

入院時の支払いは 自己負担限度額までとなります

平成19年4月1日から、70歳未満の人が入院したときの1医療機関の窓口での支払いは、自己負担限度額までとなります。

自己負担限度額は、所得区分によって異なりますので、あらかじめ国保に申請し、交付された「限度額適用認定証」を医療機関に提示することで、窓口での支払いが自己負担限度額までとなります。入院する場合、入院している場合は、必ず「限度額適用認定証」の交付を申請してください。
※国民健康保険税を滞納していない世帯に限ります(特

別の事情がある場合はこの限りでない)
なお、外来や複数の医療機関への支払いで限度額を超える場合は、これまでどおり後から申請して支給されます。

申請に必要なもの

- 国民健康保険被保険者証
- 印鑑

申請開始日

4月2日(月)以降

申込先

市役所保険年金課または各総合支所市民生活課

自己負担限度額表のとおり

問い合わせ

- 保険年金課
- 国保年金班

所得区分	3回まで	4回目以降※2
一般	81,000円 + 医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の1%	44,400円
上位所得者※1	150,000円 + 医療費が500,000円を超えた場合は、その超えた分の1%	83,400円
住民税 非課税世帯	35,400円	24,600円

※1 国民健康保険税の算定の基礎となる基礎控除後の総所得金額などが600万円を超える世帯。所得申告がない場合も上位所得者とみなされます。

※2 過去12ヶ月間に、1つの世帯で支給が4回以上あった場合は4回目以降の限度額を超えた分が支給されます。

市からのお知らせ

問い合わせ

- 市役所 0957(38)3111
- 教育委員会 0957(37)3113
- 福祉事務所 0957(36)2500

- 国見総合支所 78-2111
- 小浜総合支所 74-2111
- 瑞穂総合支所 77-2111
- 南串山総合支所 88-3111
- 愛野総合支所 36-2111
- 雲仙出張所 73-3445
- 千々石総合支所 37-2001



保険年金課

国民年金についてのお知らせ

● **国民年金の届けは忘れずに**
春は異動のシーズンです。「就職」「退職」「転勤」などが多い季節です。これらの節目には国民年金の届出を忘れずにおこなってください。

● **会社を辞めたとき**
● **会社員である配偶者に扶養されなくなったとき(配偶者が会社を辞めたときや本人のパート収入が増えたとき)**
● **必要な届** 国民年金第1号被保険者資格取得届
● **届け先** 市役所または諫早社会保険事務所

● **会社員である配偶者に扶養されるようになったとき**
● **必要な届** 国民年金第3号被保険者資格取得届
● **届け先** 配偶者の勤務する事業主
● **住所や氏名が変わったとき**
● **必要な届** 住所変更届
● **届け先** 第1号被保険者は市役所または諫早社会保険事務所
第3号被保険者は配偶者の勤務する事業主へ

● **保険料が変わります**
平成19年度の国民年金保険

● **口座振替をご利用ください。**
保険料の納付は便利で安全で確実な納付方法として、「口座振替」をお勧めします。
● **手間と時間が省けます**
毎月、金融機関等の窓口へ納めに行く手間が省け、納め忘れの心配がありません。

● **申し込みは簡単**
希望する金融機関で簡単に手続きができ、手数料は一切かかりません。
● **お得な早割りのご利用も**
月々の保険料を口座振替の早割り(当月保険料の当月末引き落とし)で納付すると月額50円の割引となります。

● **問い合わせ**
● **保険年金課**
● **ねんきんダイヤル**
☎ 0570(05)1165



企画課

雲仙市地域づくり事業募集

市では、市民が自ら考え実践する地域づくりを積極的に推進するため、地域の発展に資する地域活性化事業および人材育成事業等に対し支援します。支援を希望する「地域づくり事業」、「人材育成事業」を募集します。

● **応募資格** 個人および団体
● **個人**：市内に居住している人および市内に所在する事業所に勤務している人
● **団体**：構成員の半数以上が市民であり、政治や宗教などを目的としない5人以上の団体

● **対象事業**
① **地域づくり事業**
・ 団体が歴史や文化、自然など地域資源の活用を目的として行う事業
・ 団体が市の活性化などを目的として開催するイベント(市が共催または後援するイベント)

● **対象経費**
① **地域づくり事業**
・ 調査や研究、視察や交流などの経費

● **補助額**
査定額の3分の2以内
● **限度額**
● **国内研修**：1人当たり12万円、1団体(10人以上)に

・ 特産品の開発や地場産業の育成などの経費
・ 地域づくり推進組織の育成などの経費
・ 地域づくりを目的として開催するイベント・研修会などの経費
・ そのほか地域づくり事業の経費

② **人材育成事業**
・ 研修や視察、交流などの経費
・ 人材育成を目的として開催する研修会などの経費
・ そのほか人材育成事業に必要な経費

● **問い合わせ**
● **企画課** 地域振興班

● **募集期間**
● **第1次募集**
3月1日～4月27日
● **第2次募集**
8月1日～31日

● **つき120万円**
● **国外研修**：1人当たり20万円、1団体(10人以上)につき200万円
● **調査および研究などに関するもの**：50万円
● **研修会などの開催**：20万円
● **イベントなどの開催**：原則100万円

奨学生募集

雲仙市奨学生募集

雲仙市では、市在住者（出身者）で、貸付条件に該当し、対象学校に在学する人に対し、奨学資金を無利子で貸し付け、修学の援助を図ります。

貸付条件 次のすべてを満たす人

- 扶養者が1年以上雲仙市内に住民登録している人
- 学業・人物ともに奨学生としてふさわしい人
- 経済的な理由により修学困難な人

※他の奨学金制度との重複貸与はできません（重複申請は可）

対象学校

- ① 大学、大学院、短期大学、農業大学校
- ② 高等専門学校、専修学校（専修学校設置基準による修業年限2年以上の学校）、各種学校（各種学校規定による修業年限2年以上の課程）
- ③ 高等学校

貸与金額

- ①：月額2万円以内
- ②：月額1万5千円以内
- ③：月額1万2千円以内

償還方法

卒業の月の6カ月後から貸与期間の2倍相当の期間に、口座振替により月払い、または半年払い、もしくは年払いで償還。ただし、その期間は10年以内。

申込方法

次の書類を雲仙市教育委員会総務課または各分室に提出してください。

- 奨学資金貸付申請書
- 在学証明書（在学中の学校の学校長発行）
- 学業成績証明書（卒業した学校の学校長発行）

- 家庭状況書
- 貸付申請書、家庭状況書は、教育委員会総務課または、各分室にあります

申込受付期間

4月9日（月）～5月15日（火）

貸付開始予定

貸付けを決定した人には、8月10日（金）に4月から8月分までを振込みにより貸付け、以後、毎月貸付けとなります。

問い合わせ

● 教育委員会 総務課

（財）長崎県育英会奨学生募集

長崎県育英会では、優れた生徒でありながら、経済的理由により就学困難な人に学費を貸与して、教育の機会均等を図り、将来、社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的として奨学資金の貸付を行います。

出願資格

県内に住所がある人の子などで、大学に在学している人

のうち、経済的理由により修学が困難で、かつ人物・学業ともに優れている人

（大学院・短大・通信教育・専修学校の在学者は該当しません）

※他の奨学金制度との重複貸与はできません（重複申請は可）

貸与金額（月額）

	国公立大学	私立大学
第1年次	41,000円	47,000円
第2～3年次	35,000円	41,000円
第4～6年次	31,000円	37,000円

出願手続き

出願用紙は教育委員会総務課または各分室で交付を受け（ダウンロードして印刷したものも使用できます）、必要書類を作成の上、教育委員会総務課または各分室に提出してください。（出願用紙の配布は3月10日以降）

募集期間

3月12日（月）～4月27日（金）
奨学金の返還

奨学金は、卒業の翌月から起算して6ヶ月を経過した後、次のいずれかの償還方法で返還します。

- 年払い ● 半年払い ● 月払い
- 月払い・半年払いの併用

問い合わせ

●（財）長崎県育英会
☎ 095（824）7501
ホームページ
<http://www.n-ikuei.jp>
● 教育委員会 総務課
<http://www.city.unzen.nagasaki.jp>

市からのお知らせ

問い合わせ

- 市役所 0957(38)3111
- 教育委員会 0957(37)3113

- 国見総合支所 78-2111
- 小浜総合支所 74-2111
- 瑞穂総合支所 77-2111
- 南串山総合支所 88-3111
- 愛野総合支所 36-2111
- 雲仙出張所 73-3445
- 千々石総合支所 37-2001

県営バス撤退に伴う代替策

企画課

県営バスの島原半島撤退で下記のように変わります。(4月1日から)

①現在、県営バスだけが走っている区間(千々石町岳地区、小浜町富津地区、小浜町山領地区)

県営バス撤退後は、雲仙市タクシー事業組合による運行を行います。
岳、富津地区は、ジャンボタクシーでの運行、山領地区は、中型バスでの運行となります。
運行時刻表については、現在の県営バスの運行時刻表に近いダイヤでの運行となる予定です。
また、定期券の販売は、今坂タクシー(千々石町)と小浜温泉タクシー(小浜町)で行います。

②現在、島鉄バスと県営バスが一緒に走っている区間

県営バス撤退後は、島鉄バスが増便して運行します。

●県営バス約40便、島鉄バス約20便での運行 → 島鉄バス約40便での運行

島鉄バスの新しい時刻表は、3月17日(土)または18日(日)の新聞折込でお知らせする予定です。

また、定期券の販売は、愛野駅、雲仙営業所、小浜ターミナル、本諫早駅、諫早ターミナル、口之津営業所で行います。



※写真はイメージです

◎運賃

運賃は、県営バスと同等程度となります。

また、定期券についても、おおむね現行と同料金を予定しておりますが、上記①と②を乗り継ぐ場合には、別々の定期券が必要となります。

◎愛野駅での乗り継ぎ

4月からは、口之津方面から諫早方面へ運行するバスのうち、朝夕の上下線合わせて19便が愛野駅で鉄道への乗り継ぎとなります。

※愛野駅構内までバスが乗り入れます。

◎ターミナルについて

現在、雲仙市内には、雲仙と小浜の2ヵ所に県営バスターミナルがあります。県営バス撤退後には、雲仙ターミナルは廃止、小浜ターミナルは島鉄バスが引き継ぐこととなっています。

■問い合わせ

- | | | |
|----------------------|---------------|--------------------|
| ○雲仙市企画課 | ☎0957-38-3111 | ファックス 0957-38-3514 |
| ○島原鉄道株式会社営業部自動車課 | ☎0957-62-2234 | ファックス 0957-62-5712 |
| ○雲仙市タクシー事業組合(吾妻タクシー) | ☎0957-38-3221 | ファックス 0957-38-3246 |

雲仙市市民憲章を制定しました



↑報告書を市長に手渡す松平泉委員長

雲仙市市民憲章起草委員会（松平泉委員長ほか8人）が1月29日、市民憲章案をまとめ、奥村市長に報告しました。同起草委員会は、市内の農漁業関係者や自治会長、図書ボランティア、公募委員などで構成され、昨年8月30日からこれまで、4回にわたり協議を重ねてきました。

市では、報告された文案をもとに、2月1日、下のとおり雲仙市市民憲章を制定しました。

雲仙市市民憲章

美しい雲仙岳、恵み豊かな有明海と橘湾、悠久の歴史にはぐくまれた雲仙市。

わたしたちは、市民としての誇りと責任を持ち、互いに手をたずさえて、未来に羽ばたくまちを築きます。

- 一 水と緑を大切にし 心やすらぐまちを愛します
- 一 文化と伝統を生かし ころ豊かな人を育てます
- 一 思いやりと感謝の心で 笑顔の輪を広げます
- 一 人と自然を調和させ 活気あふれる産業の発展に努めます
- 一 きまりを守り 安心して暮らせる平和なまちをつくります

【市民憲章の解説】

基本的な考え方

子どもから高齢者まで、だれにでも分かりやすく、唱和のしやすいことを基本としました。

また、平成15年10月に実施され、新市建設計画策定の基礎資料となった「新しいまちづくりに関するアンケート調査結果」を考慮するとともに、合併により誕生したまちの一体感の醸成と市民の心よりどころとなるように起草しました。

前文について

豊かな自然を表現し、雲仙岳や有明海、橘湾の名称を入れ、雲仙市の情景をイメージできるようにしました。また、市民協働のまちづくりへ向けて、市民が主体的に関わっていかうとする気持ちを表現しました。

本文について

「わたしたちは」を主語としていますが、文章を簡潔に、また唱和を容易にするため省略しました。

語尾については、「…を(に)○○します」とすることで、市民自らの意思表示であることを表現しました。

五カ条の詳しい内容については、市ホームページ

<http://www.city.unzen.nagasaki.jp>をご覧ください。

平成19年度 住民健診（集団健診）の申し込みについて

4月から住民健診が始まります。平成19年度から総合健診の受診ができるようになり、基本健診・がん検診などの各種健（検）診も含めて、事前に申し込んでいただくことになりました。

今回は、集団健診の申し込みのみを受け付けますので、受診を希望する人は、必ず申込書の提出をお願いします。

（◎今回申込書の提出がない場合は、集団健診が受けられなくなりますのでご注意ください）

住民健診（集団）

健康管理のため、年に1度は
健診を受けましょう!!

◎健（検）診の種類

左記の表に記載

【総合健診とは】

1回の受診で基本健診※・胃がん検診※・大腸がん検診・腹部エコー検査・胸部レントゲン検診を同時に受診できる健診です。

※基本健診と胃がん検診の受診は必須、その他の検診は希望する人のみの受診になります

ただし、日数や受診人数に限りがありますので、希望する場所や日程での受診ができない場合があります。

◎申し込み方法

17ページの『住民健診（集団健診）申込書』に、必要事項を記入のうえ、申込書裏面の返信用封筒を利用して郵送するか、または市役所健康づくり課、福祉事務所福祉課市民福祉班、各総合支所市民生活課に直接提出してください。

【申込書提出期限：3月20日（火）まで】 ※電話での申し込みはできません

◎対象者（年齢は平成20年3月31日現在の年齢です）

左記の表に記載

原則として、40歳以上の市民（昭和43年4月1日までに生まれた人）

ただし、子宮がん検診の対象者は、20歳以上の女性（昭和63年4月1日までに生まれた人）

※勤務先の職場検診や人間ドックを受診予定の人は、ご遠慮ください

また、治療中の病気がある人は、主治医とご相談ください

◎検診料金

左記の表に記載

※70歳以上の人と生活保護世帯の人は、無料となります。ただし、基本健診については、市民税非課税世帯の方も無料となります。

該当となる人は、事前に手続きが必要ですので、市役所健康づくり課または福祉事務所福祉課市民福祉班、各総合支所 市民生活課 までお問い合わせください。

◇健診日程の年間計画は、年度の当初に自治会を通して『各種健（検）診の年間スケジュール表』の配布を予定しておりますので、ご覧ください。

◇受診方法・日程・場所・時間等の詳しい内容については、健診実施日の約2週間前までに、各申込者に通知します。

◇毎月の健診日程等については、市の広報紙に掲載します。

【平成19年度集団健診予定表】 各健(検)診の受診は、年度(H19.4~H20.3)に1回です。

健(検)診名		健診内容及び方法	実施場所	対象者	個人負担金
総合健診		【基本健診+胃がん検診】(必須) +各種がん検診(婦人検診を除く)	地域 公民館 等	40歳以上	受診した 検診の合計額
基本健診		問診、尿検査、身体測定、血液検査、 診察、心電図検査、腹囲測定など 介護予防のための生活機能検査			700円
				65歳以上	
各種 検診	胸部レントゲン検診 (結核・肺がん検診)	問診、レントゲン撮影	地域の公民館 等及び検診車 による巡回受診	40歳以上 (39歳以下は希望者のみ)	無料
	喀痰細胞診	配布する容器に3日間の痰を採取		50歳以上の喫煙者等	300円
	肝炎ウイルス検査	B型・C型肝炎ウイルス検査 (血液検査)	地域の公民館・保健センター等	40歳の人及び 40歳以上の人で過去 5年間受けていない人	200円
	大腸がん検診	問診、便潜血検査		40歳以上	200円
	前立腺がん検診	問診、血液検査(PSA検査)		40歳以上の男性	500円
	胃がん検診	問診、胃部エックス線検査(胃透視)		40歳以上	400円
	腹部エコー検査	肝臓・腎臓・すい臓等のエコー検査		40歳以上	1300円
子宮がん検診(頸部)	問診、医師による内診・細胞診	20歳以上の女性		300円	
婦人 検診	乳がん検診	問診、視診及び触診 マンモグラフィ検査(2方向)		40歳代の女性	500円
		問診、視診及び触診 マンモグラフィ検査(1方向)	50歳以上の女性		
	骨粗しょう症検診	問診、骨密度測定	40・45・50・55・60・65・70歳の 節目年齢の女性	300円	

※個人負担金は変更になる場合があります

『個別健診及び人間ドックの実施について』

平成19年度は、集団健診に加え、住民の皆様が都合の良いときに医療機関で健診を受けてもらえるよう下記の個別健診を実施します。

〈個別健診ができる検診〉…基本健診・子宮がん検診・乳がん検診・総合健診

★個別健診でも総合健診が受けられます

基本健診と胃がん検診・大腸がん検診・胸部レントゲン検診・腹部エコー検査を1回の受診で同時に受けられる総合健診を実施する予定です。

★人間ドックも実施を予定しています

*30歳以上の市民を対象に、日帰り・1泊2日・脳ドックの3コースを実施する予定をしております。

*市が実施する基本健診・がん検診等との重複受診はできませんのでご注意ください。

*募集人数には限りがあるため、定員を超えた場合は、昨年度に人間ドック・脳ドックを受診されなかった人を優先とさせていただきますので、ご了承ください。

詳細(実施時期・実施医療機関・検診料金等)についての説明と申し込みは、翌月以降の広報に掲載する予定です。

なお、個別健診を希望される人は、集団健診は受診できませんので、ご注意ください。(今回は、集団健診のみの申し込みとなっております。)

申込書記入の説明

- ☺左記の申込書に受診を希望する人の氏名・生年月日・年齢・性別等を記入の上、希望される健（検）診の欄に○印を記入してください。
- ☺申し込み用紙の記入欄が足りない場合は、市役所健康づくり課または福祉事務所福祉課市民福祉班・各総合支所市民生活課の窓口までお越しください。

〈記入例1〉…40歳男性（国保）で総合健診と前立腺がん検診を希望する場合

対象者	男・女	男性・女性					男性のみ	女性のみ		
	40歳以上	40歳以上					40歳以上	20歳以上	40歳以上	節目年齢
健（検）診名	総合健診	基本健診	胃がん検診	腹部エコー検査	大腸がん検診	胸部レントゲン （結核・肺がん） 検診	前立腺がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	骨粗しょう症検診
雲仙 太郎 昭和42年4月1日生 40歳 (男)・女 国保・社保・他()	○						○			

保険の種類を○で囲み、その他の人は()の中に記入してください。

〔40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の女性〕

〈記入例2〉…45歳女性（社保）で基本健診・胸部レントゲン・子宮がん・乳がん・骨粗しょう症検診を希望する場合

対象者	男・女	男性・女性					男性のみ	女性のみ		
	40歳以上	40歳以上					40歳以上	20歳以上	40歳以上	節目年齢
健（検）診名	総合健診	基本健診	胃がん検診	腹部エコー検査	大腸がん検診	胸部レントゲン （結核・肺がん） 検診	前立腺がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	骨粗しょう症検診
雲仙 花子 昭和37年5月1日生 45歳 男・(女) 国保・(社保)・他()		○				○		○	○	○

【注意】

基本健診と胃がん検診の受診を同日に希望する場合は、総合健診の欄に○印を記入してください。総合健診の欄に○印を記入した場合、希望する人は、大腸がん検診・腹部エコー検査・胸部レントゲン検診も同日に受診することができます。

ただし、総合健診の日数や受診人数には限りがありますので、希望する場所や日程での受診ができない場合があります。

※総合健診以外で基本健診、各種検診の受診を希望する場合、および前立腺がん検診や婦人検診の受診を希望する場合は、それぞれの欄に○印を記入してください

【問合せ先】

雲仙市役所 健康づくり課 (0957) 38-3111
または 福祉事務所 福祉課 市民福祉班、各総合支所 市民生活課 まで

平成19年度 住民健診（集団健診）申込書

下記の通り健診を申し込みます。

平成19年 月 日

※受診を希望する人の氏名・生年月日・年齢・性別等を下の枠内に記入の上、希望される健(検)診の欄に○印を記入してください。

申込書提出期限
3月20日(火)まで

住所	雲仙市 (アパート名・号)	町	番地	自治会名	世帯主名	連絡先 ()				
対象者	男性・女性		男性・女性			男性のみ		女性のみ		
	40歳以上		40歳以上			40歳以上	20歳以上	40歳以上	節日年齢	
健(検)診名	総合健診	基本健診	胃がん健診	腹部エコー検査	大腸がん健診	胸部レントゲン 結核・肺がん健診	前立腺がん健診	子宮がん健診	乳がん健診	骨粗しょう症健診
年 月 日生										
歳 男・女										
国保・社保・他()										
年 月 日生										
歳 男・女										
国保・社保・他()										
年 月 日生										
歳 男・女										
国保・社保・他()										
年 月 日生										
歳 男・女										
国保・社保・他()										

※記入後、このページを切り離し、裏面の作り方を参考に返信用封筒を作成し、そのまま郵送してください。(切手不要)
市役所 健康づくり課 または福祉事務所福祉課市民福祉班、各総合支所 市民生活課などの窓口へ、直接お持ちいただいたも結構です。

裏にのりを塗って張り合わせる

(山折り③)

料金受取人払

吾妻局承認

9

差出有効期限
平成19年3月
31日まで

8 5 9 - 1 1 1 0 7

雲仙市吾妻町牛口名七二四

(受取人)

雲仙市役所

健康づくり課 行

(山折り⑤)

裏にのりを塗って張り合わせる

切り取り線

世帯主	住所
	雲仙市 町

(山折り②)

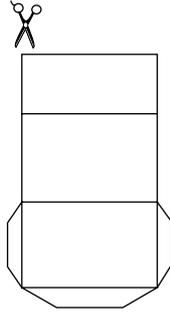
(山折り④)

裏にのりを塗って張り合わせる

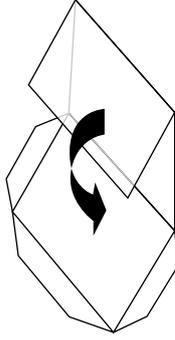
切り取り線

〈封筒の作り方〉

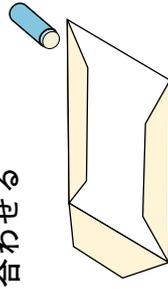
①点線に沿ってはさみで切り取る



②山折り①～⑤の順に折りたたむ



③のりしろの裏面にのりをつけ、貼り合わせる



市役所健康づくり課または
福祉事務所福祉課市民福祉班
各総合支所市民生活課などの
窓口へ直接お持ちいただいたも
結構です。

(山折り①)





←全国大会および九州大会への出場を決めた小浜中学校男子卓球部のみなさん

日名子杯争奪卓球大会 小浜中学校男子卓球部 全国大会に出場決定

12月23日～24日に行われた日名子（ひなご）杯争奪卓球大会において、小浜中学校男子卓球部が見事優勝しました。

同部は、2月24日から鹿児島県で行われる九州大会と3月28日から北海道で行われる全国大会に出場します。

また、小浜中学校女子卓球部も同大会で準優勝し、男子卓球部とそろって九州大会に出場します。小浜中学校男女卓球部の九州大会、全国大会での活躍を期待します。

九州大会出場を決めた小浜中学校女子卓球部のみなさん→



日名子杯争奪卓球大会 小浜ジュニア卓球クラブ 初の全国大会へ

12月24日に行われた日名子（ひなご）杯争奪卓球大会の小学男子の部において、小浜ジュニア卓球クラブが見事優勝しました。

同クラブは、3月24日から愛知県で行われる全国ホープス選抜卓球大会に出場します。平野監督は、「団体戦では初めての全国大会ですが、リーグ戦突破を目指してがんばります」と抱負を述べました。



↑写真左奥から平野英樹監督、中村哲也コーチ
左手前から平野太智くん、中村智也くん、平野晃正くん、荒木隆星くん



↑日ごろの練習の成果を競い合います

第1回島原半島地区対抗駅伝競走大会 南串山が初代優勝チームに

第1回島原半島地区対抗駅伝競走大会が、1月21日に小浜町から南島原市加津佐町の間で行われました。

島原半島の3市の陸上競技協会、体育協会が一体となって開催するのは今回が初めてで、地区対抗形式の大会に、半島内から15チーム（うち1チームはオープン参加）が出場しました。

雲仙市内からも5チームが出場し、南串山チームが見事、初代優勝チームに輝きました。ほかのチームも、千々石が準優勝、国見が5位、小浜が7位、瑞穂・吾妻・愛野の合同チームが11位と、各チームとも健闘しました。



↑準優勝の千々石チーム



↑優勝の南串山チーム

第1回島原半島中学校対抗卓球大会
（1月20日開催）
学年別団体戦結果

【1年男子】
優勝 小浜中
準優勝 西有家中A
第3位 千々石中A
〃 愛野中

【1年女子】
優勝 小浜中A
準優勝 小浜中B
第3位 吾妻中
〃 口之津中

【2年男子】
優勝 加津佐中
準優勝 小浜中
第3位 西有家中A
〃 西有家中B

【2年女子】
優勝 小浜中
準優勝 加津佐中
第3位 西有家中A
〃 口之津中

市長が動く。
まちが変わる。
みんなで変える。

「小学校新一年生を持つ親と雲仙市を語る」

第11回移動市長室意見交換会

全国的に少子化が進んでいますが、雲仙市でも同様です。市内の小学校児童数は平成18年5月の時点で3119人です。しかし、平成19年4月は3000人を割り込み、平成19年後も毎年約150人ずつ減り続け、5年後の平成24年には2400人台になると予想されています。

少子化の弊害は、いろんなところで起きていて、学校の統廃合問題もその一つで、既に教育関係機関で検討が進められています。また、子どもだけでなく、子どもを持つ親も減少し、近所に相談相手がいないなど子育て情報が不足しています。

そこで、小学校1年生に初めて子どもを入学させる父母にご参加いただき、市長と意見交換していただきました。

市長 今日のテーマは「小学校新一年生を持つ親と雲仙市を語る」ですが、私は1961年に小学校に入学しまして、1980年に大学を卒業するまでに不合格、留年、退学、休学などいろいろ経験いたしました。それが一つの自慢です。皆さんのお子さんもこれからいろんな経験をされ、また成長されていくと思いますが、今日はその自分の子どもに対する希望、そしてまた雲仙市に対する希望なども含めて、ご意見を賜りたいと思います。

事務局 お子さんが小学校に入学されるにあたり、どんなことを考えておられるかお話ください。

小原 毎日、いじめや自殺、交通事故など悲惨なニュースが流れて心配です。学校で過ごして家に帰るまでは、子どもや預け先の方を信用しないといけない。そのような中、子育て支援や学童保育など子どもたちを地域で見守っていたたい取り組みができるのか、私たちも考えて提案していきたい。

も6人なので当然一クラスです。また、県営バスの撤退で路線バスがなくなります。一年生になると自由に動ける範囲が広がるのでいろいろ心配です。

林田智 私の子どもは一人っ子なので、他の幼稚園や保育園出身の子どもたちと一緒に入って大丈夫だろうかと不安です。



▲林田智子さん

野口 共働きなので子どもと接する時間が短く、心配です。親子の会話を極力増やして、楽しい学校生活を送れるよう頑張っていきたい。



▲野口和香子さん

林田里 毎日仕事や雑事に追われて、子育ての難しさを感じます。今から入学が楽しみですが、一年生になったらいろんな壁にぶつかると思う。しっかりと心構えをもって対応していきたい。



▲林田里恵さん

三浦 私は父親ですので、出たとこ勝負ぐらいしか思っていないところがあります。息子なりにどうにかやっていくだろうと思うし、困ったときに相談してくれたらアドバイスできると思っています。子どもと一緒に成長していきたいと思っています。



▲三浦代史忠さん

菅 自宅から小学校までの道のりが1・2キロあるのに、防犯灯が6つぐらいしかなく、小学生だけでなく中・高校生の通学路でもあることから防犯や交通安全面で心配です。また、核家族が増え、また父母とも共働きのため、子どもが帰宅しても誰もいない家庭が増えていて、学童保育の支援を増やしていただければ、親子とも安心して生活できると思う。小学校でのいじめも心配ですが、いじめがなくなることはないでしょうから、我が子に対しては、親としてこれまで経験してきたことをしっかりと教えたい。

益子 ゆとり教育で学校週5日制になり、子どもは土、日曜日を無駄に過ごしているように感じるので、工夫できないかと考えます。また、今の学校は子どもたちから危険な物を遠ざけようとし過ぎて、ガード付き彫刻刀を使っていると聞きます。どんな切り方をしても手を切らないようにガードが付いているんでしようが、これまでの彫刻刀は危ないから使わせないではなく、安全な扱い方を身に付けさせるような教育こそが大切ではないかと

他の保育園の子どもと一緒にあって大丈夫だろうか



▲小原千鶴さん

福田 私の息子は早く一年生になりたいと喜んでいます。戸惑いもあるようですが、雲仙小は児童数が少なく、新一年生

思う。



▲益子知子さん

金子助役 確かに小学校に入學するときの不安は、先ほど三浦さんが言われたように、父親というのは出たとこ勝負というところがございます。ただ行政として、どれだけ皆様の不安を取り除けるのか、どれだけの手助けが出来るのか、皆様方とどれだけ一緒になってやっていけるのかご意見をお聞かせいただきたいと思います。



▲金子助役

吉田助役 私も我が子が小学校に入學するとき、学校側が、私が思っているような子どもに育ててくれるのか、先生方がもし私と違う考えだったら困るという不安がございました。



▲吉田助役

どんな環境に置かれても対応できる子どもになってほしい

市長 これから先、子どもたちに望むことは、どんな環境に置かれても対応でき

る子どもになってほしいということ。子どもは皆さんが心配されるほど弱くはないと思うし、いろいろ吸収して生きる術を身に付けていくと思います。

事務局 ゆとり教育や自分たちが学生・子どもの頃にはなかった部分、ガードされ過ぎていたなどの示唆などに対して意見を聞いていきます。

三浦 ガード付き教材のことですが、私は反対です。切れる物が指に触れても切れないというのはおかしい。いかに自分の手や他人を傷つけないように扱うかが教育であって、成長の過程で、そういうのを身に付けるといえるのは大事だと思います。

福田 物の使い方というのは使ってみないと分からないし、怪我をしながら覚えていくこともある。守られてばかりでは人間の中は広がっていかない。

永野 今の子どもたちの10年後20年後が心配です。



▲福田真紀さん



▲永野幸子さん

平岩 今の子どもたちの中には、ゲーム

感覚で、人を殺してもまた生き返るといって考えを持っている子どももいるようです。私たちの時代は、けんかしてもすぐ仲良くなった。

菅 いじめの原因を学校側や先生方に全部被せるのではなく、いじめられる原因がどこかにはあるはずなので、子どもと一緒に探す。まず家庭で出来ること、子どもの立場になって自分たちが経験したことを子どものことばで教えてやるのが大事だと思います。不安はあるが親子一緒に乗り越えていきたい。



▲菅保さん

林田智 いじめられても親に心配かけたくない、悩んでいることを悟られたくないというのがあり、それをどうやって見抜いていけばいいのか。いじめられる方ではなく、いじめる方だったら厳しく怒るかもしれないが、それを自分の痛みとして分かってもらうにはどうしたらいいのか。正義感で立ち向かって、反対にいじめられることもあると思う。どんな環境でも打たれ強い子になって欲しい。

市長 自殺した子どもたちの殆んどが、自分がいじめられていることを親に知られたくない、親が知ったら悲しむから親に言わないと聞きますが、一生懸命に自分で悩んで、親に一番悲しみを与える結果を選んでいきます。昔のいじめには原因がありました。今は連鎖で全くルー

ルもなく、いじめを持ち回りでやっているということも聞きますので、お父さんやお母さん、そして先生方が協力しながら、そのサインを見逃さないことが大切だと思います。今の教育制度の中では、先生方は口頭でしか指導できないので、体罰などについてはどう思われますか。

北村 愛があればいい。大事なのはその後で、体罰をしたままではなくて、体罰以上に可愛がってあげたら体罰にはならない。



▲北村保さん

山崎 子どもに接するとき、私は口で言う前にすぐ手が出るが、その後「ごめんね」と言うと、子どもは叩かれた意味が分かっている。いじめに関しては、私も火傷をしていることだからいじめられたが、逆に言い返して強くなった。

(次ページへ続く)

意見交換会参加者(敬称略)

- 永野 幸子(国見町)
- 益子 知子(国見町)
- 菅 保(瑞穂町)
- 北村 保(吾妻町)
- 三浦代史忠(吾妻町)
- 林田 里恵(愛野町)
- 野口和香子(千々石町)
- 平岩美紀子(千々石町)
- 林田 智子(千々石町)
- 福田 真紀(小浜町)
- 小原 千鶴(小浜町)
- 山崎 清美(南串山町)

事務局 子育てについて近くに相談できる人、また子育ての情報が不足していませんか。

福田 雲仙地域は子どもの数が少ないだけに、お母さん同士のネットワークは大変強く、情報自体は求めれば入ってくるので、孤立した感じは全くなく、安心して

平岩 少子化で仕方ないが、新入学児童は千々石だけで37人しかいないので、第一小学校と第二小学校を一緒にできないのかと思う。



▲平岩美紀子さん

市長 私は小中学校の義務教育9年間全く生徒の入れ替わりがなく、高校でカルチャーショックを受けた。自分の環境を考えると小中学校の間に他の地域の人たちと交流をした方がいいと思います。学校の統合については、賛否両論です。我々の環境とは変わってきているので子どもたちの価値観はもっと変わるかもしれないです。

山崎 小学校に入学したら学童保育という支援センターに行くのを楽しみにしている。近所の子どもたちとも一緒に行くように話をしているみたいです。

林田里 いじめに関しては、我が子が被害者や加害者になったらと心配です。い

ずれにしても、そういう境遇に直面したとき、我が子に対してどのような話をしなければいいのか、親として持つていなければならない。



▲山崎清美さん

子、親、学校の信頼関係が大切

益子 多動や不登校とかシグナルを出している子どもたちの対応についてはどうなっているのか。プライベートの問題もあり空回りしていると聞いたが。もし我が子がいじめられ、不登校になったときに抛り所として居場所があるのか伺いたい。また、特殊学級が削減されているという話を耳にしたことがある。

教育委員会 今、ご心配されていることにつきましては、統計的には40人学級で約6.3%、40人の中に2人〜3人ぐらいい軽度発達障害の子どもが存在すると言われています。本市でもそういう子どもたちが各小学校の通常学級にいますので、小学校ではスクールサポーター、中学校では心の教育サポーターというのを配置しております。来年度から法の改正が行われて特別学級という表現はなく、特別支援教育という表現をして、通常の学級にあっても障害のある子どもさんがその学級で普通の子どもたちと一緒に授業が出来るような環境を創っていくという方向に、国をあげて取り組んでいこうとしています。

三浦 自宅から学校までの子どもの通学路を歩いてみたが、危険箇所と思われる場所が2〜3箇所あった。例えば横断歩道の標示はあるが信号機がない。通勤ラッシュの車が止まることなく走っているが、横断歩道前を子どもたちがキョロキョロしている。交通事故に遭わないか心配です。

教育委員会 お母さん、お父さんが学校の先生方とコミュニケーションをとり、信頼関係を築いて、共に子どもを育てたいという大変すばらしいお話を聞かせていただきました。学校に対してはいつでも相談できますので、健やかな子どもたちの成長を支援していただければと思います。

市長 子どもたちも与えられた環境の中で一生懸命、生きる理由を見つけ、生きる術も身に付けていくと思います。そこをフォローしていくのが親であり、また学校や先生方も困ったときには各自で抱え込むのではなく、お互いにその悩みやいろんな情報を共有し合い、相談することであるんな問題の解決策が出てくると思います。これから夢を持って小学校に入学する子どもたちから決して目を逸らさないで、一緒に成長されることを願い、頑張っていただけだと思います。



▲奥村市長

移動市長室参加希望者の募集

○移動市長室とは・・・

市民参加による協働のまちづくりを進めていくために、市長が皆さんの声を広く聞き、魅力ある雲仙市の市政運営の参考とするものです。

1. より多くの市民の皆さまとお話をするために
市で設定したテーマ別に、参加者を全市的に公募します。5人以下の団体または個人で企画課へ直接お申し込みいただき、15人〜20人程度で構成します。
2. より多くの場所で市民皆さまの声を聞くために
テーマに沿って参加しやすい場所を設定し、公募した皆さまとじっくり意見交換を行います。

○各回ごとのテーマ

第13回「雲仙市のグリーンツーリズム、ブルーツーリズムを考える」(3月16日予定)

○申込方法

1カ月前までに申込書に必要事項(団体名、代表者名、連絡先、参加者氏名など)を記入し、直接、郵送、ファックスまたは電子メールで企画課へお申し込みください。

※申込の状況によっては、参加できない場合もありますので、ご了承ください。

■問い合わせ

企画課 地域振興班 ☎0957(38)3111
ファックス 0957(38)3514
電子メール kikaku@city.unzen.nagasaki.jp

消火器・住宅用火災警報器などの 悪質訪問販売にご注意を!!

最近、一般家庭や事業所での消火器・住宅用火災警報器などの悪質な訪問販売が多発しています。手口は、いつもの点検業者を装って一般の事業所を訪問し、すぐに押印を求めて消火器等の点検を始め、多額の請求を行うというものです。点検の途中で中止を求めても、押印している（契約している）ことをたてに現金での支払いを迫ります。

また、特に昨年6月から設置が義務化された住宅用火災警報器については、消防職員や市職員を装って一般家庭を訪問し、「義務だから」「設置しないと罰金」などと脅して購入を迫る業者もいます。

以下のことに注意し、被害にあわないように注意しましょう。また、分からないことがあったらすぐに、下記問い合わせ先に相談してください。



※写真はイメージです

被害にあわないための4つの注意点

- ①消火器等の点検を依頼するときは、いつもの契約業者かどうかを確認しましょう
- ②消防職員や市職員が住宅用火災警報器等を訪問販売することはありません
- ③住宅用火災警報器の未設置については、罰則の適用はありません
- ④消火器は、その大きさにもよりますが、概ね1万円前後、住宅用火災警報器は、その機能にもよりますが、概ね7千円前後です

■問い合わせ

〒854-0514 雲仙市小浜町北本町114-25 小浜消防署予防設備課 ☎0957-74-3231
〒859-1306 雲仙市国見町神代乙111-1 島原消防署北分署 ☎0957-78-2870

長崎県

犯罪のない安全・安心まちづくり

ホームページ開設



長崎県では、安全・安心まちづくりの取組状況や犯罪情報などを県民の皆さまに提供するため、ホームページを開設しました。

このホームページは、①条例・計画・指針、②推進体制、③県の取り組み、④市町の取り組み、⑤地域の取り組み、⑥事業者の取り組み、⑦指導員・リーダーの取り組み、⑧子どもの安全対策、⑨犯罪情報から構成されています。

その他、子ども向けに、防犯に関してクイズに答えながら、わかりやすく学んでいく「キッズページ」を設けています。

〈ホームページアドレス〉 <http://www.pref.nagasaki.jp/safety/>

↓満員となった会場は、剛志くん独特の透明な音楽空間に包まれました



こだわりコンサート がんばる掛屋剛志君拍手会 拍手はぼくのビタミン剤

「ぼくの演奏を聴いて、上手だったら、拍手をください～い」、1月28日に千々石町公民館で「がんばる掛屋剛志君拍手会」が開かれました。このコンサートは、昨年「長崎県地域文化章」を受賞した千々石こだわり倶楽部が、受賞記念として行いました。

14歳になる掛屋剛志くんは、知的・視覚障害を持ちながら、3歳の頃に音楽と出会い、ご両親や周りの人たちの支えもあり、自らの音楽的才能を開花させました。作曲も手がけ、作品の数は100を超えるそうです。この日も、千々石中学校ブラスバンド部との共演など、10曲を披露。剛志くんの素晴らしい演奏と澄んだ歌声は、満員の会場を魅了し、大きな拍手がいつまでも鳴り響いていました。

また、この日会場で集められた参加費は、障害者福祉に役立ててもらうため、全額、市に寄贈されました。



↑まるで天使のような歌声↓



↑当日集められた参加費（75,400円）を市田市民福祉部長に手渡す千々石こだわり倶楽部の野田代表

食 小浜温泉あったか冬まつり 食べてみんな、おいしかよ。

「ふるさと長崎の旅」推進キャンペーンの一環として行われている小浜温泉あったか冬まつり。その中のイベントの一つとして、1月21日に小浜マリンパーク横の茜広場で、雲仙こぶ高菜やエタリの塩辛などの試食会が行われました。

会場では、島原半島の冬の食材をふんだんに使った百人鍋も振る舞われ、訪れた人たちの心と身体を温めました。



↑観光客など、多くの方が冬の味覚を楽しみました



↑市長にお願い手帳などを手渡す管所長

耳 電話お願い手帳・ふれあい速達便を寄贈 や言葉が不自由な人のために

株式会社NTT西日本一九州島原営業所の管所長が、2月5日に市役所を訪れ、「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便」各120冊を寄贈しました。これらは、耳や言葉が不自由な人が、110番連絡など、代わりに電話をかけてもらいたいときなどに利用するもので、本庁や支所の窓口などに設置させていただきます。

100 市内2人に100歳のお祝い 回目のハッピーバースディ♪

1月20日に100歳を迎えられた林田シズコさん（千々石町）と同月23日に迎えられた井手上セキさん（小浜町）に、市からのお祝いが手渡されました。

林田さんは、天気の良い日には、ご自宅の庭の草むしりをなさるとか。また、井手上さんは、金子助役からのお祝いの言葉をとてもうれしそうに聞いていらっしゃいました。

お2人とも、これからも健康的に長生きして、幸せに過ごしてください。



↑ 1月23日に100歳を迎えられた井手上さん

平成18年度島原半島地区 青年農業者連絡協議会実績発表大会 メンバー全員で取り組んだ成果

平成18年度島原半島地区青年農業者連絡協議会実績発表大会が1月30日、雲仙市で開かれました。

同大会では、島原半島地区の青年農業者が一堂に会し、半島全域から14団体が農業経営や地域農業の改善などについて研究成果を発表。その中で、「愛野町エコプロジェクト パートVI」と題し、環境にやさしいばれいしょ栽培などについて発表した、雲仙市愛野町の永野大輔さんが見事、最優秀賞を受賞しました。このほか、雲仙市から、国見町の山本直和さんが優秀賞に選ばれました。



↑ 写真右から3番目が永野さん、右から2番目が山本さん

練習の成果を見てください 平成18年度 学習発表会

雲仙市・南島原市特別支援教育研究会が主催する学習発表会が、2月1日に千々石町公民館で開かれました。

大ホールで行われた舞台発表では、詩の暗唱、劇、ダンス、紙芝居、合奏やミニオペレッタなど、いろいろな発表がなされました。それぞれに一生懸命練習してきた成果が十分に発揮され、発表が終わるたびに大きな拍手が鳴り響いていました。

また、2階ロビーには、絵画や習字、工作などの素晴らしい作品が並んでいました。



↑ 劇「なかよし村のーねんかん」の一場面

多くの絵がえらばれたよ 第66回全国教育美術展 特選

平成18年度で66回目となる全国教育美術展が開かれ、雲仙市から小浜幼稚園の田中将樹くんの作品（「どっちがつよいかな」）が特選に入賞しました。

この展覧会は、財団法人教育美術振興会が毎年主催しているもので、今年は、全国から2832校（幼稚園、保育所を含む）、12万6722点もの応募がありました。このうち、特選に選ばれたのは、全国で2350点、長崎県内では、32点です。市内からは、唯一田中くんの作品が特選に選ばれました。



↑ 特選の賞状に喜ぶ田中将樹くん

精神統一して、冷水で身を清める

橋神社 寒中禊（みそぎ）

二十四節季のひとつで、一年で最も寒さが厳しいとされる「大寒」の1月20日、千々石川で恒例となった寒中禊（みそぎ）が行われました。橋神社祓会が毎年行っているこの禊も10回目を迎え、今年も県内外から男女22人が参加しました。

まだ夜明け前の午前6時すぎ、参加者は一斉に身も凍るほどの冷たい川へ。全員が川の中へ入ってから約5分間、冷水にさらされながら身を清め、今年一年の無病息災や家内安全などを祈願しました。

↓冷たい川に身を洗める参加者たち



↓迫力あるリズムに、会場全体が揺れているようでした



ZI-PANGと瑞宝太鼓の共演

林田ひろゆきと「ZI-PANG」の世界

スーパー和太鼓林田ひろゆきと「ZI-PANG」の世界の公演が、1月28日に国見町文化会館において行われました。

本県出身の桶太鼓の第一人者である林田ひろゆき氏とZI-PANGの圧倒的なテクニックと瑞宝太鼓の力強い演奏があり、開演と同時に迫力ある演奏やパフォーマンスが繰り広げられました。また、ZI-PANGと瑞宝太鼓のジョイントもあり、訪れた満員の観客は、感動し、盛んな拍手を送っていました。

交通安全を地域から進めましょう

地域交通安全活動推進委員に委嘱状

雲仙地区の地域交通安全活動推進委員への委嘱状交付式が1月26日、雲仙警察署で行われました。同委員は、雲仙市全域での各種交通安全運動に出席したり、啓発活動に取り組みます。委員は次のとおりです。

門弘仁さん（会長）、山本囀弘さん（副会長）、森定征さん、佐々木隆さん、本田一治さん、伊藤政昭さん、町田慶一郎さん、永野定信さん

↓委嘱状を交付された委員のみなさん



↓数多くのすばらしい作品が展示されました



トップアーティストたちの競演

第2回長崎県美術展覧会委嘱展移動展

1月17日から21日まで、国見町文化会館「まほろば」において、第2回県美術展覧会委嘱展移動展が開かれました。

県内在住のトップアーティスト（5部門、100余人）による、個性豊かな作品が展示され、期間中多くの人々が訪れました。来場された人たちは、すばらしい作品の数々に熱心に見入っていました。

まちのわだい

↓みんなで食べるとやっぱりおいしいね



おしゃべりも立派な調味料!?

全国学校給食週間 招待給食会

全国学校給食週間(1月24日～30日)に伴って、1月29日に国見学校給食センター管内の小中学校6校で招待給食会が行われました。

以前から招待給食会を行っている神代小学校では、市長や食材の生産者、地域のために活動している住民など20人を越える人が招待されました。地元の食材を使った給食を食べながら、子どもたちとの会話も盛り上がり、いつも以上に楽しい給食の時間となりました。

みんなで大切に読みます

平成18年度伊藤忠記念財団「子ども文庫助成」に市内3団体

財団法人伊藤忠記念財団の子ども文庫助成先に、市内から『子どもの本購入費助成』に「愛のおはなしの部屋(愛野町)」と「おはなしのへやぐりとぐら(国見町)」、『子どもの本100冊助成』に「おはなしのろうそく(小浜町)」の3団体が選ばれました。

「おはなしのろうそく」では、毎月第3土曜日におばまコミュニティスペース「もくもく」でおはなし会を開いており、今回送られてきた100冊の児童書も「もくもく」に置いてあります。(貸出はしていません)

◆「おはなしのろうそく」代表 伊藤淑子 ☎0957-74-5821



↑送られてきた本に大喜びの子どもたち

勝利の女神はどちらに

TUG OF WAR in うんぜん

あづま創志会主催による綱引き大会「TUG OF WAR in うんぜん」が2月11日に吾妻体育館で行われました。市内外から47チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。各部門の優勝は次のとおりです。

一般の部：町田工業B(諫早市)、
混合の部：フードパッカーA(諫早市)、
小学生の部：大塚肉まんじゅーず(雲仙市)



↑力のこもった戦いが続きます

市民の力作がズラリ

第1回雲仙市美術展覧会

2月9日から12日にかけて、愛野町農業者トレーニングセンターにおいて、雲仙市として初めての美術展覧会が開かれました。

7部門(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザイン)から約150点の作品が展示されました。作品は、いずれも力作ぞろいで、訪れた人たちは、すばらしい作品に感心しながら見入っていました。



↑800人を越える人たちが鑑賞に訪れました

子どもから大人まで

劇団四季ファミリーミュージカル「王子とこじき」

劇団四季によるファミリーミュージカル「王子とこじき」の公演が2月10日、ハマユリックスホールで行われました。

会場には、家族連れ姿が多く見られ、客席は満席となっていました。

クライマックスでは、舞台と客席が一体となった「真実の歌」が響き渡り、多くの拍手が送られていました。



↑本物の迫力に圧倒されました

情報ステーション



お問い合わせはこちら

- 雲仙市役所 ☎0957(38)3111
- 国見総合支所 ☎0957(78)2111
- 瑞穂総合支所 ☎0957(77)2111
- 愛野総合支所 ☎0957(36)2111
- 千々石総合支所 ☎0957(37)2001
- 小浜総合支所 ☎0957(74)2111
- 南串山総合支所 ☎0957(88)3111
- 雲仙出張所 ☎0957(73)3445

- 雲仙市教育委員会 ☎0957(37)3113
- 国見分室 ☎0957(78)1100
- 瑞穂分室 ☎0957(77)2125
- 吾妻分室 ☎0957(38)3108
- 愛野分室 ☎0957(36)0616
- 小浜分室 ☎0957(74)2111
- 南串山分室 ☎0957(88)3114

福祉事務所 ☎0957(36)2500

上下水道局 ☎0957(38)3111

選挙管理委員会 ☎0957(38)3111

監査事務局 ☎0957(38)3111

農業委員会 ☎0957(38)3111



人のうごき

人口	51,008人
男	24,219人
女	26,789人
世帯数	16,397世帯

1月末現在(住民基本台帳)

はり等施術受給者証交付

市では、平成19年度の「はり等施術受給者証」を次のとおり交付します。

対象者

市に住所があり、居住している人

助成額

施術1回につき800円

※回数制限あり(36回まで)

申請方法

印鑑を持参し、住所地の各総合支所市民生活課(愛野町は福祉事務所福祉課市民福祉班・吾妻町は市役所福祉課)に申請してください。

※助成を受ける際は、交付された受給者証と印鑑が必要です。

手続きの期間

4月2日(月)から

問い合わせ

○福祉事務所 福祉課市民福祉班

○市役所 福祉課

○各総合支所 市民生活課

相談窓口開設

次のとおり相談窓口を開設します。

◆児童・生徒および保護者の教育相談窓口

いじめの問題、不登校、その他の相談

教育委員会 学校教育課

☎0957(37)3113

◆児童虐待等に関する通報・相談窓口

虐待、養護などの通報・相談

市民福祉部 福祉課

☎0957(36)2500

どちらも来所されてからの相談にも応じています。お気軽にお尋ねください。

◆教育相談窓口

24時間電話相談

県教育委員会「いじめ相談ホットライン」(全国统一ダイヤル)

☎0570-078310

愛心の献血

あなたの献血が、患者さんの生命を助けます。あなたも愛の献血に、ぜひご協力ください。

〈国見町〉国見町文化会館
3月9日(金) 9時～13時・14時～16時

〈愛野町〉愛野保健福祉センター
3月16日(金) 9時～13時・14時～16時

〈千々石町〉千々石総合支所
3月26日(月) 9時～13時・14時～16時

〈南串山町〉南串山総合支所
3月28日(水) 9時～13時・14時～16時

問い合わせ

・長崎県赤十字血液センター ☎095(843)3331
・市役所健康づくり課 健康づくり班

※場所等が変更になる場合があります。

国家公務員採用試験

平成19年度の各種国家公務員採用試験を次のとおり行います。

●Ⅰ種試験

受験資格

①昭和49年4月2日～61年4月1日生まれの人

②昭和61年4月2日以降生まれの人

●Ⅱ種試験

受験資格

①昭和53年4月2日～61年4月1日生まれの人

②昭和61年4月2日以降生まれの人

れで、平成20年3月までに大学卒業(見込み含む)の人および人事院が同等と認める人

受付期間 4月2日～9日

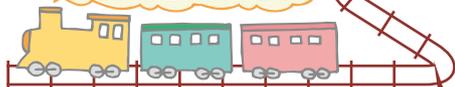
第1次試験日 4月29日(日)

●Ⅲ種試験

受験資格

①昭和53年4月2日～61年4月1日生まれの人

②昭和61年4月2日以降生まれの人



今日の税

◎市・県民税(国民健康保険税)・所得税の確定申告はお済みですか？

まだ済んでいない人は、早急に申告をお願いします

●税の納め忘れはありませんか？

4月からは新たに19年度の課税が始まります

過年度の税で納め忘れがある人は、早急に納付をお願いします

あなたの納税で あかるい ゆたかな 街づくり

シェイプアップスクール開校

吾妻体育館では、市民の健康増進や生活習慣病予防を目的に、年間を通して「シェイプアップスクール」を開催します。

このスクールは平成18年4月から開催され、20歳代～70歳代までの女性の皆さんが、平成19年1月末現在で延べ1,425人参加しています。

「スポーツが苦手」「体を動かす事があまり得意ではない」人でも気軽に参加できるメニューです。気軽にご参加ください。

日時 4月3日～ 毎週火曜日
午前10時～正午まで(2時間)

場所 吾妻体育館

参加料 1回100円(トレーニング室使用料)

持参する物

体育館シューズ・タオル・バスタオル2枚・飲み物(水分)

メニュー

- 4・5月 初めてのシェイプアップ
- 6・7月 T・Bシェイプアップ
- 8・9月 ピラティスシェイプアップ
- 10・11月 足ツボシェイプアップ
- 12・1月 サーキットでシェイプアップ
- 2・3月 シェイプ・シェイプ・シェイプ



問い合わせ

吾妻体育館 ☎0957 (38) 3100

- ② 昭和61年4月2日以降生まれで、平成20年3月までに大学・短大・高専を卒業(見込み含む)の人および人事院が同等と認める人
受付期間 4月13日～24日
第1次試験日 6月17日(日)
- 国税専門官採用試験
- 労働基準監督官採用試験
- 受験資格
- ① 昭和53年4月2日～61年4月1日生まれの人
② 昭和61年4月2日以降生まれで、平成20年3月までに大学卒業(見込み含む)の人および人事院が同等と認める人
受付期間 4月2日～13日
第1次試験日 6月10日(日)

- 法務教官採用試験
 - 受験資格
 - ① 昭和53年4月2日～61年4月1日生まれの人
② 昭和61年4月2日以降生まれで、平成20年3月までに大学・短大・高専を卒業(見込み含む)の人および人事院が同等と認める人
受付期間 4月2日～13日
第1次試験日 6月10日(日)
- 受験案内などの請求は、返信用封筒(角形2号に140円分(国税専門官については120円分)の切手を貼付し、宛先を明記)を同封した封筒に、請求する試験名を朱書きし、人事院九州事務局第二課試験係へ送付してください。

人事院九州事務局第二課試験係
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1

申し込み・問い合わせ

☎092(431)7733

バキューム車の公売

南高北部環境衛生組合では8年使用したバキューム車の公売をします。畜産関係の尿運搬用として充分使えますので希望する人は当日組合までご来場下さい。

公売物件 バキューム車3t (容量2700ℓ)

公売日 3月15日(木) 午後2時

公売場所 南高北部環境衛生組合(硝化センター)
(国見町神代己10番地)

問い合わせ

南高北部環境衛生組合(硝化センター)
☎0957(78)2817

平成19年度「長崎県食品ウォッチャー」募集

近年、産地偽装表示、高病原性鳥インフルエンザ、無登録農薬の使用問題などが発生し、食品の安全性に対する関心が高まっています。そこで、県では、県民が安心できる食環境を推進するため、食品の安全・安心確保施策の一つとして「食品ウォッチャー制度」を設立し、食品の表示の適正化を図っています。この制度を推進するためのモニターを募集します。

- 活動内容 ①食品表示状況のモニター(意見の定期報告)
②研修会への参加

募集期間 3月5日(月)～20日(火)(当日消印有効)

委嘱期間 委嘱日～平成20年3月31日

応募資格 県内に在住している満18歳以上の人

応募方法 応募申込書に記入のうえ、長崎県食品安全推進室へ提出してください。(応募申込書は県ホームページからダウンロードするか、直接、長崎県食品安全推進室に問い合わせで請求してください)

問い合わせ・申込書設置箇所 長崎県食品安全推進室

☎095(895)2366 ファックス095(824)4780

ホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/shokuhin/index.php>



フリーダイヤル
0120-11-0000

〔長崎〕095(826)5511 長崎県保険医協会

月	リウマチ性多発筋痛症
火	肩関節脱臼
水	子どものしつけと虐待
木	治りにくいじんましん
金	要介護者の口腔ケアについて
土・日	尿が近いー過活動膀胱ー

☆午前9時～翌朝9時までの24時間、同じ内容のテープが流れます。

県立農業大学校学生募集

農業をする人、したい人
関連団体・企業へ就職したい
人の一般入学2次募集試験を
実施します。

日時 3月22日(木)

午前8時50分

場所 農業大学校(諫早市小
船越町3171)

試験科目 小論文・数学(数
I程度)・個人面接

募集学科 野菜・花き・果
樹・畜産

応募資格 高校を卒業した人
または3月に卒業見込みの人

受付 3月12日(月)まで、
居住地区を管轄する各農業改
良普及センターで受け付けま
す。

※1月に実施した1次募集試
験結果により畜産学科は実
施しない場合もあります。
詳しくはお問い合わせくだ
さい。

問い合わせ

県立農業大学校教務課
☎0957(26)1016

諫早大村高等職業訓練校
平成19年度 生徒募集

諫早大村高等職業訓練校で
は、平成19年度の生徒を募集
します。

平日夜間

普通課程(2年間)

木造建築科

●建築設計科
短期課程(3ヶ月～1年間)

●Jw CAD初級科

●CAD中級科

●CAD実践科

●CAD建築設備科

●インテリアコーディネーター

ター科

●2級建築士短期特訓科

●2級建築施工管理技士科

●建築基準法学習会

●木造大工伝承会

昼間(水)

●Jw CAD初級科

●インテリアコーディネーター科

ター科

●無料建築CAD設計体験教室

3月11日(日)・18日(日)・

24日(土)

午後2時～4時30分

問い合わせ

諫早大村高等職業訓練校

☎0957(22)0036

ホームページ

<http://www1.bbig.jp/kunrenko/>

三宅島移動展

雲仙お山の情報館では、三宅島の噴火の概要や自然の魅力、人々の暮らしを知っていただくとともに、雲仙普賢岳の噴火と比較しそれぞれの地域の噴火との関わり方や自然環境の変化などについて学ぶことを目的とする「三宅島移動展」を開催します。

日時 3月17日(土)から
4月8日(日)まで

時間

3月・午前9時～午後5時
4月・午前9時～午後6時
(開館時間内)

※3月22日(木)は除く

場所 雲仙お山の情報館
2階 映像展示室

入場無料(自由見学)

雲仙お山の情報館

☎0957(73)3636

問い合わせ

雲仙お山の情報館
☎0957(73)3636

雲仙市

みずほすこやかランド施設管理協会 職員募集

施設管理協会の受付業務に携わっていただく職員を次のように募集します。

募集職種

- 事務員(パソコン操作のできる人)
- 宿泊受付管理・グラウンド整備業務(夜間・昼間交代業務)

- 温泉受付管理業務(夜間・昼間交代業務)

勤務期間 平成19年4月1日～平成20年3月31日
(月21日間勤務)

募集人員 各1人

待遇 施設管理協会規定による
社会保険・雇用保険あり

応募資格 雲仙市内に在住している20歳から60歳で、心身ともに健康な人

申し込み ふれあい会館に備え付けの「施設管理協会職員申込書」に必要事項を記入し、雲仙すみずほすこやかランド施設管理協会ふれあい会館事務局に提出して下さい。

申込期間 3月20日(火)午後5時まで

選考方法 書類審査および面接

問い合わせ

ふれあい会館事務局 ☎0957(77)4111

お知らせ



☆変更される場合がありますので、電話連絡後、受診してください。

日	医療機関	電話番号	町名
4日	長田医院	0957(77)3622	瑞穂町
	くさの循環器内科	0957(37)6050	千々石町
11日	安藤病院	0957(38)2152	吾妻町
	松島外科	0957(74)4388	小浜町
18日	有明保養院	0957(36)0153	小浜町
	公立新小浜病院	0957(74)2211	小浜町
21日	愛野記念病院	0957(36)0015	愛野町
	城代医院	0957(37)2032	千々石町
25日	松本医院	0957(36)0053	愛野町
	京泊馬場医院	0957(88)2050	南串山町

ながさき森林環境税が導入されます

長崎県は、森林を健全な姿で次の世代に引き継ぐために、「ながさき森林環境税」を平成19年4月から導入します。ふるさとの森林を守り育てる税に、県民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

森林を守り育てる取り組みに使います

- 「環境重視」の森林づくり
 - ・「水源の森」の整備
 - ・樹木の育成のための環境整備
- 「県民協働」の森林づくり
 - ・県民のみなさんの提案・参加による森林づくり活動の支援

県民税に加算して納めていただきます

個人 県内に住所、家屋敷等がある人
税率 年間500円
 ※前年の合計所得が一定金額以下等により、県民税均等割額が非課税の人には課税されません

法人 県内に事務所等がある法人等
税率 県民税均等割額の5%相当額

問い合わせ

長崎県農林部林務課 ☎095 (895) 2983
 長崎県総務部税務課 ☎095 (895) 2214



小浜中学校吹奏楽部 定期演奏会
 全日本マーチングコンテストに3年連続で出場し、昨年見事金賞を受賞した小浜中学校吹奏楽部の第30回記念定期演奏会が開催されます。

小浜中学校吹奏楽部出身の特別ゲストをお迎えしての演奏会です。ぜひみなさんお越しください。
日時 3月31日(土)
 午後5時30分開場
 午後6時開演
場所 ハマユリックスホール
入場無料
特別ゲスト
市原隆靖
 小浜中学校吹奏楽部でオーボエを始める。第18代部長。東京、長崎のテレビやラジオで司会・パーソナリティとして活躍している。
城谷雄策
 小浜中学校吹奏楽部でトランペットを始める。第20代部長。吉田美和 (DREAMS COME TRUE)・Misia・忌野

お詫びと訂正

広報2月号に誤りがありました。深くお詫びし、訂正します。申し訳ありませんでした。

訂正

●2ページ:平成19年 雲仙市成人式 (誤)一同に会して → (正)一堂に会して

市役所 秘書広報課

問い合わせ

清志郎等と共演。東京を中心にレコーディングやライブ活動をを行っている。
 小浜中学校吹奏楽部 (永田)
 ☎0957 (74) 2737

広報うんぜん

定期購読

引越しや進学、就職などで市外に転居しても「広報うんぜん」を購読することができます。

購読料 無料
 ※ただし、左記の送料が必要となります

送料 1680円
 (140円×12カ月)

※平成19年4月号～平成20年3月号分になります

申込方法

【持参の場合】

現金1680円をおつりがないように持参のうえ、市役所秘書広報課広報班または各総合支所管理課までお申し込みください。

【郵送の場合】

購読希望者の住所、氏名をご記入のうえ、1680円を「定額小為替」または「現金書留」(おつりがないように)にして、市役所秘書広報課広報班あてにお送りください。

なお、市ホームページでもご案内しています。

問い合わせ

○秘書広報課 広報班



「としょかんまつり」開催

雲仙市図書館（国見町文化会館内）において、「としょかんまつり」を開催します。

楽しい催しをたくさん用意して、みなさんのご来場をお待ちしています。

3月10日（土）

- 10：30～12：00 ボランティアによるお話し会
- 13：30～15：00 ビデオ「コープスブライド」上映会

3月11日（日）

- 10:30～12:00 図書バックづくり（染色）
- 13:30～15:00 絵本作家 長谷川集平さん講演会（一般対象）演題「ホームランを打ったことのない君に」
- 13:30～15:00 折り紙教室（子ども対象）

※期間中は、雑誌リサイクルや重量当て、クイズ、ぬりえ発表会もあります。

※ぬりえや図書バックづくりに参加したい人は、事前に図書館へお問合わせください。

問い合わせ 雲仙市図書館（月曜休館） ☎0957（78）3977

「永井郁子絵本原画展」開催

雲仙市図書館（国見町文化会館内）において、「永井郁子絵本原画展」を開催します。

絵本の原画のすばらしさを感じ、想像力を膨らましてみませんか。

また、3月17日（土）には永井郁子さんご本人をお迎えして、楽しいイベントも開催します。みなさんのご来場をお待ちしています。

絵本原画展～入場無料～

（ドラゴンまるのぼうけんシリーズ、かいぞくポケットシリーズなどの原画32点）

期間 3月13日（火）～18日（日）午前10時～午後6時

場所 雲仙市図書館（国見町文化会館内）

永井郁子とあそぼう～参加費無料～

日時 3月17日（土）午後2時～4時

場所 国見町文化会館

内容 ・キャラクターをいっしょにかこう！
・絵本の読み語り

問い合わせ ●教育委員会生涯学習課 ☎0957（37）3113

●雲仙市図書館（月曜休館）☎0957（78）3977

ゴスペルコンサートin雲仙

～入場無料～

長崎のゴスペルクワイヤ「FAITH」を迎え、市民参加型のゴスペルコンサートや、絵本をもとにした音楽劇を行います。

参加者は2月24日から練習を行い、コンサートに向けて練習中です。みなさん一緒に楽しいひとときを過ごしてみませんか。

日時 3月17日（土）

午後6時30分～8時

会場 吾妻町ふるさと会館

※入場整理券の配布はありません。

問い合わせ

教育委員会 生涯学習課

☎0957（37）3113

春の市民登山会 参加者募集

春の瑞々しい山々の登山をいっしょに楽しみませんか。雲仙山系でも見晴らしのいいことで知られる「九千部岳」登山を行います。

日時 3月25日（日）※延期なし（中止の場合は24日午後6時ごろ連絡します）
9：00集合（田代原キャンプ場駐車場） 9：30出発 13：00解散予定

募集人数 20人（先着順）

募集対象 市内在住の人（小学生以下は原則として保護者同伴、登山行動に耐える体力がある人）

持参するもの 弁当、飲料水、雨具、登山にふさわしい格好

参加費無料（参加者傷害保険は市山岳協会で負担します）

申込期間 3月16日（金）まで

申込方法 雲仙市山岳協会事務局に、住所、氏名、年齢、性別、血液型、電話番号を明記のうえ、郵送・FAX・Eメールのいずれかの方法で申し込んでください。

申し込み・問い合わせ

雲仙市山岳協会事務局 〒854-0703 雲仙市南串山町丙10538-4

南串山総合支所 産業建設課気付 雲仙市山岳協会事務局 中島宛

ファックス 0957（88）3870 電子メール t-nakashima@city.unzen.nagasaki.jp

☎090（9492）5820

虹のあとさき 編集後記

▼久しぶりに少し早起きをしました。1月20日、大寒の日、今年は土曜日ということもあり、普段ならまだ布団の中…暖冬ということもあり、例年からするとかなり暖かい朝。とはいえ、一年で一番寒いといわれる日、冷たい空気が肌を刺します▼恒例となっている橘神社の「寒中禊（みそぎ）」の取材。現場に着くと、すでに多くのカメラマンが場所を取り、シャッターチャンス逃すまいと待ち構えています▼私も早起きをしたつもりでしたが、かなり遅いほうです。当然、ほとんどスペースが残っていない状況で、ほかの人の邪魔にならない場所を探します。そんなときに、スタッフの人が、「場所を移らんといかんけん、ここで撮ってよかよ」と撮影場所を譲ってくれました▼先に来て、寒い中場所を取っていらつしやうた人たちは気の毒だったんですが、その場所で撮影させていただきました。皆さん、本当にありがとうございました▼今回のことに限りませんが、本当にみなさんのご協力、ご支援があつて「広報うんぜん」ができてきているのだと感じます。このような場を借りて申し上げます。失礼かもしれませんが、本当にありがとうございます。そして、今後ともどうぞよろしく願います。

也